



Financial Services Agency

風水害リスクに関する 金融機関の取組の動向や課題

2026年 8 月28日

金融庁 銀行・証券監督局 総務課
気候関連リスクモニタリング室
小川 和彦

※ 本講演・資料にある見解・意見は個人のものであり、所属する組織の見解を示すものではありません。

- I. 調査概要
- II. リスク認識とリスク顕在化事例
- III. リスク分析の現状
- IV. 分析精緻化の取組
- V. リスクへの対応
- VI. 顧客支援

- I. 調査概要
- II. リスク認識とリスク顕在化事例
- III. リスク分析の現状
- IV. 分析精緻化の取組
- V. リスクへの対応
- VI. 顧客支援

■ 本報告書は、金融機関の風水害に起因する損失リスク（風水害リスク）の管理や顧客支援等に関する実践的な参考事例を提供することを目的とするもの。

- 大手行等・地域銀行・生命保険会社・損害保険会社の一部（計17先）を対象に、風水害リスク管理や顧客支援等に係る取組や課題を調査。
- 金融機関は、総じて風水害リスクを含む気候関連リスクや大規模自然災害リスクを重要な経営リスクの一つと認識している。また、リスク分析の精緻化や投融資判断への活用など、リスク管理の取組が進展している。併せて、被災時の返済負担軽減や適応投資を促す金融商品に加え、リスク分析や管理支援サービスの提供など、それぞれのビジネスモデルに応じた顧客支援の取組を進めている。
- これまでの災害対応の経験を踏まえ、金融機関自身の業務継続計画や適応策についても見直し等を推進。

01

リスク認識と リスク顕在化事例

- 金融機関は、総じて風水害リスクを含む気候関連リスクや大規模自然災害リスクを経営上の重要リスク（トップリスク等）の一つと位置付けていることを確認。
- ただし、過去の風水害リスク顕在化事例では、投融資への影響は総じて限定的との認識。
 - － 融資案件において風水害による内部格付の下方遷移事例が確認されたが、件数としては少ない。

02

リスク分析精緻化 取組事例と課題

- 種々の評価手法・データの活用等により、風水害リスク分析の精緻化に向けた取組を進めていることを確認。
 - － 投融資・保険引受において、サプライチェーン影響や主要拠点被害を考慮した顧客事業の停滞リスク分析や、精緻な被害予測データの活用、近年の降水量増加を反映したリスクモデルの見直し等
- 本社以外の主要拠点情報の把握や、サプライチェーン影響・複合災害の反映などは、依然として分析高度化の論点とする声も聞かれた。

03

リスク管理と 顧客支援の事例

- 高い風水害リスクが想定される投融資案件について、保険付保の確認や担保評価への反映など、リスク管理の取組を実施。また、損害保険会社では、再保険等を活用したリスク低減の取組を実施。
- 顧客向けには、防災・減災に資する投融資の取組や被災時の負担軽減に資する金融商品の提供等による金融面での支援に加え、BCP策定支援やリスクの可視化といった非金融面での支援も実施。
- 自社拠点のBCP見直しや災害対応に向けたインフラ整備等により、自社の業務運営に関する対応力を強化。



金融庁は、金融機関の規模や特性（各金融機関の風水害リスクを含む）等に応じて、具体的な気候変動対応の進め方は異なること等を十分に踏まえ、風水害リスクを含む気候関連リスク管理や顧客支援の状況について、引き続き金融機関の取組を注視していく。

- I. 調査概要
- II. リスク認識とリスク顕在化事例**
- III. リスク分析の現状
- IV. 分析精緻化の取組
- V. リスクへの対応
- VI. 顧客支援

風水害リスクは金融機関の各種リスクに波及し得る

風水害の発生

物理的影響

- ・ 顧客の被災（資産の毀損・業績悪化）
- ・ サプライチェーンの寸断
- ・ 社会インフラの損壊
- ・ 金融機関の自社拠点やシステム等の被災
- ・ 金融市場の混乱
- ・ 資金繰りのための顧客の資金需要の増加

金融機関が抱える 各種リスク

- ・ 保険引受リスク（保険金支払増・再保険条件悪化）
- ・ 信用リスク（顧客の返済能力低下・担保資産の価値低下）
- ・ 市場リスク（価格変動・ボラティリティ上昇）
- ・ 不動産投資リスク（収支の悪化）
- ・ 流動性リスク（資金流出・調達難）
- ・ オペレーショナル・リスク（事業停滞・修繕コスト発生）
- ・ 評判リスク（業務対応の遅れ等による評価低下）

金融機関は、気候変動リスクや大規模自然災害に起因するリスクを経営上の重要なリスクの一つとして位置付け

風水害リスクの顕在化事例は確認されたが、投融資等への影響は総じて限定的

風水害により内部格付が下方遷移した主な要因

融資形態	主な要因
企業向け 一般貸出	工場浸水、事業停止、廃業等
プロジェクト ファイナンス	太陽光・風力発電設備の損壊等

融資先の信用力を示す内部格付が下方遷移した事例は確認されたものの、件数・信用コストへの影響とも限定的

自社拠点等の被災事象と主な影響の例

発生事象	主な影響
浸水・漏水	拠点機能・ATM停止
停電	拠点機能停止
断水	拠点機能に影響
設備・車両損壊	修繕コスト発生
交通支障	出勤困難・営業体制変更

一部拠点の浸水や営業休止は発生したものの、自社拠点への影響は総じて限定的

- I. 調査概要
- II. リスク認識とリスク顕在化事例
- III. リスク分析の現状**
- IV. 分析精緻化の取組
- V. リスクへの対応
- VI. 顧客支援

Ⅲ. リスク分析の現状 ① シナリオ分析の実施状況

金融機関では業態に応じた風水害リスク分析を実施

業態別のシナリオ分析の主な対象リスクの例

業態	シナリオ分析の対象となる主な金融リスク
銀行	・ 貸出金等の信用リスク
生命保険会社	・ 保険引受リスク（一部で実施） ・ 資産運用ポートフォリオの市場リスク
損害保険会社	・ 保険引受リスク ・ 資産運用ポートフォリオの市場リスク
(注)その他、一部の金融機関で自社拠点の有形固定資産の毀損リスクを対象としている事例あり	

Ⅲ. リスク分析の現状 ② 分析上の論点

シナリオ分析の精緻化に向けた論点も確認された

金融機関から聞かれたシナリオ分析に関する主な論点

論点	内容
①風災の考慮	水災は考慮されているが、風災は考慮されていない
②拠点情報の考慮	事業停滞による影響の分析において、顧客企業の本社以外の主要拠点が十分に考慮されていない
③サプライチェーンの考慮	サプライチェーンへのリスク波及の影響が十分に考慮されていない
④複合災害の考慮	複合災害が十分に考慮されていない

- I. 調査概要
- II. リスク認識とリスク顕在化事例
- III. リスク分析の現状
- IV. 分析精緻化の取組**
- V. リスクへの対応
- VI. 顧客支援

IV. 分析精緻化の取組 ① シナリオ分析の精緻化

シナリオ分析の精緻化に向けた取組が進展

投融資に係る風水害リスクに関するシナリオ分析の精緻化の取組

主な取組	概要
①風災リスクの考慮	・ 風災影響を含めた分析を実施（物件特性や地域特性を踏まえた評価を行うため、必要に応じ外部モデル等を活用）
②拠点情報の考慮	・ 事業停滞による影響において、顧客企業の本社以外の主要拠点の被災の影響を考慮した分析を実施
③サプライチェーンの考慮	・ 産業連関表や送金データを用いたサプライチェーンの影響分析 ・ NGFSの短期シナリオ（DAPSシナリオ）を活用した分析
④物理的な災害シミュレーションの導入	・ 地形や構造物等を踏まえた災害シミュレーションを実施
⑤アセットクラスの特性の考慮	・ データベンダーから専門的な被災確率や気象データを入手し、アセットクラスの特性を踏まえた分析を実施
⑥複数パターンでの分析	・ 複数のシナリオによる分析や、特定地域における大規模災害を想定した最大損失の分析を実施
⑦その他の精緻化の取組	・ メッシュ単位でのリスク把握等により分析単位を細分化 ・ 建物の用途・構造の違いを反映した評価を実施

IV. 分析精緻化の取組 ① シナリオ分析の精緻化

保険引受に係る風水害リスクに関するシナリオ分析の精緻化の取組

主な取組	概要
① リスクモデルの見直し	・ 近年の降水量増加等の反映 ・ 将来気候予測を踏まえた台風・豪雨の発生確率の見直し ・ 被害関数の見直し
② 入力データの詳細化	・ 所在地情報等の入力データの詳細化
③ 再保険等の考慮	・ 再保険による引受条件の変化を想定した分析 ・ 災害発生後の再保険契約や再保険会社の信用力への影響を考慮

IV. 分析精緻化の取組 ② ハザードマップ等の活用

洪水ハザードマップ等を活用したリスク把握の取組もみられた

分析区分	リスクの把握内容
投融資に係る分析	・ 物件の立地に応じたリスクを把握 ・ 顧客企業の拠点をハザードマップ上にプロットし、ポートフォリオ全体の物理的リスクを俯瞰的に把握
自社拠点に係る分析	・ 浸水深や浸水継続時間等を踏まえ、拠点ごとのリスクを評価・分類

リスク把握の結果は、融資判断やBCP・避難計画の整備等に活用

- I. 調査概要
- II. リスク認識とリスク顕在化事例
- III. リスク分析の現状
- IV. 分析精緻化の取組
- V. リスクへの対応**
- VI. 顧客支援

V. リスクへの対応

風水害リスクを踏まえたリスク対応の取組がみられた

投融資に関するリスク対応の主な取組

実施段階	主な取組
案件検討時	・ リスクの高い区域や案件に対する取組方針の策定や条件設定への反映（担保評価や保険条件等）
期中管理	・ スクリーニング（リスクの影響が大きいと考えられる投融資先の抽出） ・ シナリオ分析の活用 ・ プロジェクトファイナンス等における期中管理（保険条件の確認等）

保険引受に関するリスク対応の主な取組

取組の観点	主な取組
リスク量の管理	・ リスクモデルを用いた計測・管理
リスク移転	・ 再保険等を活用したリスク移転
引受方針への反映	・ 保険料、保険期間、保険金額、免責条件等への反映

- I. 調査概要
- II. リスク認識とリスク顕在化事例
- III. リスク分析の現状
- IV. 分析精緻化の取組
- V. リスクへの対応
- VI. 顧客支援**

防災・減災や被災時の資金需要に対応する投融資の取組がみられた

投融資を通じた顧客支援の主な取組

主な取組	内容
①債務免除特約付融資	・ 一定要件を満たす台風・大雨発生時の債務免除特約付融資
②営業継続費用保険付融資	・ 被災時の営業継続費用を補償する保険付融資
③災害対応型 コミットメントライン	・ 顧客企業のリスクやBCPの状況を踏まえ、水害発生期間に優遇金利を適用するコミットメントライン
④自然災害対応住宅ローン	・ 自然災害時の返済負担軽減機能を備えた住宅ローン
その他の主な事例 ・ 自治体の防災・減災対策を資金使途とした投融資 ・ 防災・減災分野の企業への投資 ・ 新興国・途上国の気候変動適応分野に係る投融資	

VI. 顧客支援 ②その他の顧客支援

保険商品提供やリスク分析、BCP支援等の顧客支援の取組がみられた

顧客支援の主な取組

【損害保険会社】

主な取組	内容
①保険商品の提供 ・ 設計	- 顧客の特性等に応じた補償のオーダーメイド型保険 - 天候指標に連動し、損害の有無や程度にかかわらず保険金を支払う保険（パラメトリック保険）
②リスク分析・可視化	- ハザード情報・リスクマップの提供 - 気象データやAIを活用した風水害リスクの予測・通知 - 風水害のシミュレーション及び被害規模・リスクの評価
③リスクマネジメント ・ BCP支援	- BCPの策定や各種マニュアルの整備等の支援 - 災害時の初動対応や意思決定を支援するツールの提供 - リスクの総保有コストの定量化を通じたリスク対応支援 - 防災対策やインフラ整備に関するコンサルティング
④保険金支払 ・ 災害対応体制	- 大規模災害時における災害対策拠点や全国の拠点網を活用した、被害対応・保険金支払体制の整備 - AI、衛星画像、ドローン等を活用した被害把握及び損害調査 - データ統合やDXを活用した保険金支払の実施
⑤復旧・再建支援	- 保険に付帯された復旧支援サービスによる支援 - 被害認定調査及び罹災証明書発行に係る自治体支援

【銀行・生命保険会社】

- ・ ビジネスマッチング等による対応支援
- ・ グループ会社等と連携したBCP策定支援
- ・ ハザード情報の提供やリスク低減策の案内

「風水害リスクに関する金融機関の取組の動向や課題」

- I. 調査概要
- II. リスク認識とリスク顕在化事例
- III. リスク分析の現状
- IV. 分析精緻化の取組
- V. リスクへの対応
- VI. 顧客支援